

Photo Galleries



<http://www.kogyoclub.or.jp/>





新年挨拶: 一般社団法人 日本縫製機械工業会 会長 中村 和之 (JUKI 株式会社)
New Year Greetings: Mr. Kazuyuki Nakamura - JASMA Chairman (JUKI Corporation)

明けましておめでとうございます。新しい年 平成28年が始まりました。

世界は今、シリア、ウクライナの紛争にとどまらず、ISなどのテロのリスクの拡散に対して警戒を強めざるを得ないなど、政治的に難しい状況にあります。経済の分野でも、米国の金融政策や中国経済の「新常态」がもたらす新興国への影響などが懸念されています。過度の円高修正、株価の大幅な回復などを背景に、これ迄順調に回復を続けて来た我が国経済についても本年がどうなるか気になるところです。こうした中、私達事業を取り巻く環境についても不透明感否めません。

中国のアパレル生産減少の受け皿として、順調に発展して来たベトナム、カンボジア、ミャンマーなど東南アジア、南アジアのアパレル産業が今後どう動くのか、市場動向には十分な注視が必要です。しかし、今年は草木が熟する年、縁起が良いとされる「申(さる)年」であります。国内においては、近年「日本発ものづくりの提言プロジェクト」など、日本国内生産への取り組みが強化されつつあります。こうした中でお客様のIT化、ロボット化などへの要求は一段と高まっています。私共は環境の変化に動ずることなく、お客様のニーズを踏まえ、怯まず力強く前進してまいりたいと思います。当工業会は、昨年、政府の後押しを得て、東アフリカ市場への取り組みを開始しましたが、本年は4年ぶりのJIAM展を開催する節目の年です。以下主だった取り組みについてふれたいと思います。

一つはそのJIAM 2016 OSAKA「国際アパレル機器&繊維産業見本市」です。本年(平成28年)4月6日~9日に、「革新的ソリューションと高度加工技術」をテーマとして、インテックス大阪において開催いたします。当工業会としては本見本市を情報技術と革新技術を駆使した新製品や最新技術を世界に向けて情報発信する場とする方針の下、現在追い込みに全力を傾注しております。本JIAM展の出展勧誘・来場誘致に関連して、昨年は出展概要説明会を5月に東京、12月に大阪で開催したほか、5月にドイツ(フランクフルト)、9月に大阪、中国(上海)において夫々で記者発表会を行いました。

現在、204社が出展を予定しています。前回からの継続出展で規模を拡大したのは30社(国内25社、海外5社)にのぼり、新規出展者も59社(国内31社、海外28社)を数え、国内外合計出展小間数推移は前回2012年と比べ25.4%増加しています。とりわけJASMA会員の合計出展小間数は前回実績比28.9%増と大幅に伸張り、海外からの出展小間数も前回実績比23.3%増となるなど、世界の縫製関連機器メーカー各社のJIAM 2016 OSAKAに高い期待と関心が寄せられています。当工業会が主催するテーマゾーンでは、セミナー講演と連動して新しい時代のビジネスモデルにつながる展示を準備しますが、国内外から多くの来場者をお迎えすることで、必ずやビジネスチャンスの拡大につながる場となるものと確信します。また、イベントステージでは、ファッションショーやトークショーなども準備し、コンシューマの方々にも縫製機械産業への関心を深めていただければと考えております。ご関係の皆様にはなお一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

二つ目は、家庭用ミシンを使ったモノづくりの普及促進に関することです。この活動の中心となる本年の第36回「ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」には、特に、小学生、中学生の募集に力を入れるとともに、募集要項をポスターとして利用可能なサイズへと変更するなど様々な工夫も行った結果、応募学校数、作品数ともに、前年を上回ることが出来ました。応募作品は、いずれも素晴らしい出来栄の力作やアイデア溢れる個性的な作品です。皆様のご協力に深く感謝いたします。

表彰式は、来る3月5日(土)に開催します。私共としては、今後も本コンクールが、我が国の「モノづくり」文化のすそ野拡大、並びに我が国の将来のアパレル・ファッション・繊維産業を担う人材の育成に連なることを念願しております。また、平成26年1月に開始した、「生産性向上設備投資促進税制」に係わる「証明書」発行件数は、平成27年12月末時点の累計が会員で316件、非会員で196件の合計512件に達しました。残り1年余り(平成29年3月末)となりますが、今後につきましても多くの会員企業や縫製機器メーカーのお役に立つべく、ご相談に応じてまいります。

最後になりますが、私共としては、本年も、会員企業間のコミュニケーションの一段の充実を図りつつ、経済産業省のご指導のもと、関係諸団体とも連携を密にし、当工業会の着実な運営と発展に向けて努力してまいり所存です。本年の皆様の一層のご活躍とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



来賓祝辞：経済産業省製造産業局 産業機械課長（兼ロボット産業室長）佐脇 紀代志 様
Guests' Congratulatory Greetings: Mr. Kiyoshi SAWAKI from Ministry of Economy, Trade and Industry (METI),
Director- Industrial Machinery Division Manufacturing Industries Bureau

平成28年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

安倍政権が発足してから3年が経過しました。この間、デフレ脱却と経済再生を最重要課題とし機動的に積み重ねてきた経済政策の結果、雇用・企業収益は改善し、それが消費・投資に結びつくという経済の「好循環」が生まれつつあります。また、国際的な事業環境の面でも、行きすぎた円高の是正に続き、TPP協定の大筋合意がなされ、大きな弾みとなる事が期待されます。TPP協定に参加する11か国に向けた工業製品輸出総額（約19兆円）の99.9%について関税が撤廃されるほか、ルール整備等の面で改善される項目も多々あり、国内で質の高いものづくりを行う我が国企業の海外への一層の飛躍に向け大きく貢献することが期待されます。

さらに、税制においては、昨年度に着手した成長志向の改革をさらに大胆に推進し、法人税率を29.97%にまで引き下げ、併せて、地域の中小企業による設備投資を支えるべく、史上初の固定資産税での設備投資減税も決定されました。雇用・企業業績の着実な回復など、事業環境が改善しつつある今こそ、我が国製造業においては、設備、人材、イノベーションを含め、「未来への投資」をしっかりと行うことが重要です。経済産業省としても、昨秋、総理が表明された「希望を生み出す強い経済」の実現、とりわけ、我が国産業の稼ぎ頭である製造業の競争力強化に向け、これまで以上に支援してまいります。企業の皆様には、政府の各種施策も活用しつつ、設備・技術・人材に対する未来に向けた投資に挑戦いただくことを期待します。また、活力ある企業のエネルギーを駆動力として、裾野広く日本経済全体の活性化へと着実に繋げていくことができるよう、賃上げや、取引先企業に対する仕入れ価格の上昇などを含め、社会と向き合うスマートな経営の実践に努めていただくことを改めてお願いします。

我が国は、少子高齢化の進展と、これに伴う人手不足に直面しており、特にものづくりの現場では生産性向上が強く求められております。こうした課題の解決策として、デジタルとリアルを融合させた新たな技術革新が大いに期待されており、とりわけ、その中核として、デジタル技術、メカトロ技術、人工知能等の総合力を詰め込んだロボットが注目されます。昨年は、安倍総理の下に設置した「ロボット革命実現会議」で「ロボット新戦略」を取りまとめ、2月には、日本経済再生本部において、これを政府方針として決定しました。また、5月にはこのロボット新戦略の推進母体として「ロボット革命イニシアティブ協議会」が設立されました。産業分野のみならず、農林水産、食品、医療・福祉、建設、社会インフラなどの様々な分野から産学官の意欲あるメンバーが参画し、地に足のついた多様な活動が展開されています。政府としては、この協議会と協働し、2020年までの5年間で「ロボット革命集中実行期間」と位置づけ、ロボットの市場規模を2.4兆円に拡大することを目標に、我が国を世界のロボットイノベーション拠点とするロボット創出力の抜本強化、多様な分野でのロボットの利活用の促進、そして、ロボットを自立的に活用することを前提としたルールや国際標準の獲得・展開の3つを政策の柱として推進してまいります。

また、ドイツのインダストリー4.0や米国のインダストリアル・インターネットなどに代表されるIoT等を活用した新たなものづくりへの動きが起きています。こうした動きを我が国でもチャンスととらえ、日本のものづくり力の飛躍につなげるべく、IoT等の新しい技術を活用し、生産性を高め、新たな収益源を創出する意欲的な取組を支援します。生産現場や経営の状態の見える化により、カイゼンが容易になるだけでなく、データを起点とした新たな製品やサービスの創出により、稼ぐ力の向上に貢献します。本年4月に開催されますJIAM2016のセミナーで「ロボットとIoTを鍵とした製造業の成長戦略」と題して、私も講演させていただく予定でございます。

産業機械課は、これからも皆さんの生の声を聞き、それを産業政策に反映させていきたいと思っておりますので、良いアイデアやお困り事があつたら、気軽にお声を掛けてください。

最後になりましたが本年が皆様方にとって更なる飛躍の年となりますよう祈念いたしまして、新年の挨拶と代えさせていただきます。



乾杯発声: 一般社団法人 日本縫製機械工業会 副会長・JIAM 2016 実行委員長 近藤 章吾 (ヤマトミシン製造株式会社)
Give a Toast: Mr. Shogo Kondo - JASMA Vice Chairman, Chairman JIAM 2016 Executive Committee (Yamato Sewing Machine Mfg. Co., Ltd.)

ただいま、紹介いただきました近藤でございます。
本日は、当工業会の賀詞交歓会に多くの方々におこしいただきまして誠にありがとうございます。

インテックス大阪で開催されます「**JIAM 2016 OSAKA**」も、桜咲く4月開催まであと82日、3ヶ月足らずに迫り、「来場事前登録」も近々始まります。わくわく感でいっぱいです。

JIAM 展示会は、1984年に第1回が開催され、今回で11回目の開催となります。第1回目の開催時には『日本の縫製機械産業を 世界に向けて宣伝していこう。』という意気込みに満ちあふれていたと記憶しています。

約30年が経過し 縫製機械産業を取り巻く環境も大きく変化しました。しかし、時代が変わっても、世界の人件費が上昇していく中で、合理化を求める縫製工場の縫製機械メーカーに対する期待は高まるばかりです

JIAM 2016 OSAKA のテーマは、「革新的ソリューションと高度加工技術」であり、「日本発のイノベーションの発信」です。縫製業にとっての生産改革のブレークスルーを目指して、アベノミクスの経済優遇政策の支援を受け、各種新製品開発に取り組み、日本の縫製機械産業の実力を、満を持して 世界に向けて発信する場、それが **JIAM** 展です。

JIAM 2016 は、日本メーカーの底力を世界に向けて情報発信するまたとない場になる事でしょう。その事は、**JIAM** ブランドを高め、次の **JIAM** に向けても、必ずいい方向に向かう事になると思います。引き続き、皆様の心強いご支援をお願いいたします。

VISA 発給については、既に申請に必要な招待状は **JIAM** ホームページから入手可能です。可能な限り早く発給できるよう関係官庁にもお願いさせていただきますが、ホテル事情もご勘案いただき。可能な限り早く申請いただくようお客様へご案内いただきますようお願いいたします。

JIAM 2016 OSAKA の詳細内容は、本日プレスリリースを配付いたしております。お一人でも多くの皆様のご来場に向けて「**JIAM 2016 OSAKA**」のPRのほど、何卒ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、縫製機械産業、そして製造産業の発展及び会員企業の益々の発展と、本日ご出席の皆様方のご健勝とご活躍を祈念いたしまして乾杯をいたします。
ご唱和下さい、**乾杯!**







中締め: 一般社団法人 日本縫製機械工業会 副会長 眞壁 八郎 (蛇の目ミシン工業株式会社)
Address for closing the party: Mr. Hachiro Makabe - JASMA Vice Chairman (Janome Sewing Machine Co., Ltd.)





JASMA 役員(左から): 会長 中村 和之 JUKI 株式会社/副会長 安井 義博 ブラザー工業株式会社/副会長 眞壁 八郎 蛇の目ミシン工業株式会社会長/
副会長 田島 健二 東海工業ミシン株式会社/副会長 近藤 章吾 ヤマトミシン製造株式会社/副会長 廣瀬 恭子 株式会社広瀬製作所/専務理事 湯原 孝志/
JASMA Executives (from left to right): Chairman - Mr. Kazuyuki Nakamura - JUKI Corporation / Vice Chairman - Mr. Yoshihiro Yasui - Brother Industries, Ltd., /
Vice Chairman - Mr. Hachiro Makabe - Janome Sewing Machine Co., Ltd., / Vice Chairman - Mr. Kenji Tajima - Tokai Industrial Sewing Machine Co., Ltd., /
Vice Chairman - Mr. Shogo Kondo - Yamato Sewing Machine Mfg. Co., Ltd., / Vice Chairman - Ms. Kyoko Hirose - Hirose Mfg., Co., Ltd/ Director - Mr. Takashi Yuhara

JIAM

2016 OSAKA

— 革新的ソリューションと高度加工技術 —
Innovative Solutions & Advanced Processing Technology



2016年4月6日(水)~9日(土) インテックス大阪
6th (Wed.) - 9th (Sat.) April 2016 INTEX OSAKA

